

(参考様式)

次世代型営農チャレンジファーム運営事業企画提案書

1 事業実施者の概要

2 連携する農業関連事業者及び実需者（以下、「連携事業者」という。）の概要

3 本業務に係る事業実施者及び連携事業者の運営体制及び役割分担等

4 使用を希望する土地

※畑A、畑B、水田のいずれかを記載。

なお、複数の土地を希望することも可能

5 次世代型営農モデル実証の提案内容

※畑と水田を重複して希望する場合は、畑と水田に分けて提案内容を記載すること。

※大規模ほ場の特徴を生かして、コスト低減や労働生産性を高めるために実証する新技術等（国が推進するスマート農業等）について、具体的に記載すること。

(新技術等の例)

- ・本県に導入されていない大型機械や自動走行機械による各種作業
- ・生産管理システム等を活用したほ場ごとの労働時間や収支等の把握（見える化）
- ・センシング技術（土壌センサーやドローン等の活用）やデータに基づく栽培改善
- ・AIを活用した栽培管理や出荷予測
- ・実需者と連携した収穫及び出荷方法の改善 等

6 次世代営農総合研修の提案内容

※畑と水田を重複して希望する場合は、畑と水田に分けて提案内容を記載すること。

※5で実証する新技術等の内、研修対象となるものを記載すること。また、研修運営方法の工夫について記載すること。

7 添付資料

別添様式1 チャレンジファーム経営収支（実証品目ごとに作成）

別添様式2 チャレンジファーム実証計画（畑と水田を重複して希望する場合は、畑と水田に分けて提案内容を記載すること）

※上記以外の添付資料があれば記載すること。